



平成29年10月13日発行

アクチット輸液・ヴィーンD輸液のバッグ製剤への切替について

9月の薬事委員会で報告いたしましたが、興和株式会社が製造販売を行う「アクチット輸液」、「ヴィーンD輸液」について、バッグ製剤が発売されることとなりました。それに合わせ、現行のプラスチックボトル製剤は販売中止が予定されております。

つきましては本院でも、バッグ製剤への切替を行うことと致します。

旧製剤（ボトル製剤）

新製剤（バッグ製剤）

アクチット輸液
500mL



ヴィーンD輸液
500mL



新製剤のオーダ時における薬品名称は、「アクチット輸液500mL（バッグ）」、「ヴィーンD輸液500mL（バッグ）」として新たに登録させていただきます。単位を「本」から「袋」へ切り替える必要があることから、**既存の処方を使用することができなくなりますのでご注意ください（DOオーダは出来ません）**。切替後は再処方を含め、薬剤名を最初から入力して頂きますようお願いいたします。

移行期間はボトル製剤とバッグ製剤が混在することになりますが、ご協力をお願いいたします。



不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。

(文責: 山内)